

# 2018年、オプトマは 4Kプロジェクターの出荷ベースで 世界NO.1の実績を実現しました。

オプトマ本社 (Optoma Corporation) は、同社オプトマブランドプロジェクターが2018年における世界の4Kプロジェクター市場のトップシェアを獲得したと、本年2月に下記のように発表しました。オーエスグループは日本総販売代理店として、3月に日本市場向けに発表いたしました。 リリース : [https://jp.os-worldwide.com/release/pdf/optoma\\_4k\\_no1\\_2018.pdf](https://jp.os-worldwide.com/release/pdf/optoma_4k_no1_2018.pdf)



2019年4月15日発行  
お客様へのお役立ち情報、  
トピック等をお知らせする **NO.18**  
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

## リリース抜粋



**Optoma は市場シェア 21.9%を獲得し、世界一の4Kプロジェクターブランドを確保しました。**

PMA マーケティングリサーチ※によると、Optoma は2018年の4Kプロジェクター世界一の市場シェアの21.9%を占めたと発表しました。これはビデオとオーディオ製品の世界有数のブランド「オプトマ」が、4Kプロジェクターブランドにおいて、2018年の年間を通してチャンピオンの地位を保持してきた証となりました。継続的な成功はさらに4Kプロジェクター市場におけるOptomaの考え方のリーダーシップを証明するものです。

Optoma アジアパシフィック バイスプレジデント、ゴードン・ウィーは、次のように述べています。

「Optoma は、4Kが新しい解像度標準になりつつあることを認識した上で、ホームシアター・デジタルサイネージ・教育教室・オフィスミーティングなど、さまざまなユーザーのさまざまな要求を満たすための4Kソリューションを提供してきました。今後ともOptomaは、4Kプロジェクションの技術進化を続け、成長著しい4K業界をリードしていく所存です。」(以下略)

※PMA : PMA RESEARCH SanFrancisco/LosAngeles/NewYork/London/Taipei/Tokyo 出荷台数ベース。

## リリース原文

Optoma Remains World's No.1 4K Projector Brand with 21.9% of Market Share

Optoma, the world-leading brand of video and audio products, announces to remain world's number one 4K projector brand in 2018, occupying 21.9% of the market share, according to PMA Marketing Research. Optoma has held on the champion position throughout the year of 2018. The continuous success further proves Optoma's thought leadership in the 4K projector market.

"We are proud that Optoma projector brand stays highly recognized by the global market, especially the 4K range in 2018," said Gordon Wu, Vice President of Optoma APAC. "Optoma sees that 4K is becoming the new resolution standard, so has been dedicated to providing comprehensive 4K solutions to meet varying demands of different users, including home theatre, digital signage, education classrooms, office meetings, and more. Looking forward, Optoma will keep upgrading its 4K projection technology, and moving towards to dominate the smart 4K industry." Gordon continued. (The rest is omitted)

2005年登場  
DVD一体型プロジェクター  
DV10



オーエスグループは  
Optoma プロジェクターの総合代理店です。

4K HDR プロジェクター  
UHD65

2005年夏、いち早く販売提携を結んだ  
オーエスは以来日本のユーザー様向けに  
検証を重ねたプロジェクターの導入を  
進めてまいりました。



世界初のポケットプロジェクター PK101 を  
はじめ、世界初の LED フル HD プロジェクター HD90  
超短焦点フル HD プロジェクター EH320UST など、ベストセラーを重ね、  
4K、8K 放送の時を迎えた今、今後のリファレンスである 4K プロジェクターの導入を進めてまいります。

■ 世界初の LED フル HD プロジェクターから 4K UHD プロジェクターへ

4KUHD



HiVi グランプリ 2014 受賞  
フロントプロジェクター部門賞



Optoma HD90

驚異のコントラスト比500,000:1を実現。  
1080pフルハイビジョンプロジェクターに、  
オプタマが初めて独立したRGB-LED光源を採用。  
4Kプロジェクターの高精細画面に迫る先進のテクノロジーを搭載し、  
1080pの魅力を超すことなく再現するDLPプロジェクター。

フロントプロジェクター部門賞



2014年 HD90

UHD60

■ 世界初のポケットプロジェクターからモバイルプロジェクターのベストセラーへ



2008年 PK101



ML750



ML750STS1

■ 短焦点・超短焦点・WXGA・レーザーのビジネスユースもオプタマプロジェクター



GT1080

短焦点



ZW310ST

DURACORE LASER 短焦点



EH/W320UST

超短焦点



ZH400UST

DURACORE LASER 超短焦点



WU515T

6000lm

株式会社オーエスは二〇一八年、創立六五周年を迎え、更に新しい歴史を刻もうとしています。代表 奥村正之が歩みを振り返ります。「けんこんいつてき」何が語られるか、お楽しみにください。

この事件以降、考え方を変えた私は、あるべき姿の企業像をあらためて考え始めました。問題は山積している。何からどのように行っていけばよいか、全くわからない。

まずは基本から、と考えた私は、簡単な営業データや年に1度、3ヶ月遅れしかでこない決算書を整理し、過去のデータも含めて時系列的に並べ分析始めました。

ただ、結果の集計だけをして、現状、進行している営業状況はわかりません。営業がそれぞれにお客様と交わす個別契約の内容は全くわからず、個別契約終了後に結果として集計があがってくるものをただただ分析して見るだけの現状でした。

経営企画室として、今後どのようにしていくのかを考えた末に出した結論は、大阪本社・東京支店・枚方工場といった主要拠点をオンラインで結ぶオフィスコンピュータ（オフコン）の導入でした。オフコンを導入すれば、個人に付いている仕事を共有できるようになり、またマスター登録することで、ある程度情報が管理された状況のもと仕事を進めていくことができました。また、仕事の効率アップにもつながり、営業活動の標準化ができ、内部統制が取れると考えました。

しかし、ともにコンピュータを使って仕事をした経験のない社内の年長者は、オフコンの導入を提案されても全く反応は無く、むしろ仕事が奪われるとの考えで反対勢力にまわってしまったのです。

そこで、社歴の長い人たちに理解してもらうことをあきらめ、今までアナログで仕事してきたキャリア採用の方に、コンピュータの使い方を覚えてもらい、導入のメリットを理解してもらおうように働きかけたのです。その方も入社後、周囲の社員は個人に仕事が付いているので、仕事を教えてもらえないし、なかなか覚えられないと困っていたのです。

その方は前職でも資料、購買、物流などの業務管理の仕事をしてきたようで、商品は変われど仕事の流れは同じということもあって、すぐにオフコン導入に向けて理解を示していただけたのです。

その方と一緒に仕事を進めていくようになり、方向が定まって動きだした我々の次の課題はシステム開発をしてもらう会社の選定でした。

(続く)

乾坤一擲

018

代表  
奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。